【北海道庁から】北海道地域おこし協力隊メールマガジン
北海道　総合政策部　地域創生局　官民連携推進局
■■　　北海道の地域おこし協力隊の方々にお届けする
■■■■　■　　メールマガジン♪
■■■■■■　　研修会やイベントの開催情報
■■■■　　全道各地で活躍する地域おこし協力隊の活動状況、
■　■■　　定住・起業の支援情報などを発信します。
****
■目次
【１】「地域おこし協力隊　自治体職員向け研修」無事終了しました！
【２】西塔さん連載企画！～第 21 回「地域おこし協力隊の募集数が過去最高に」文 西塔大海さん（さとのば大学講師）
【３】「とかち地域おこし協力隊ネットワーク（TCN）」活動状況報告
【４】創業セミナーのご案内（日本政策金融公庫）
【５】食関係キャンペーン実施のお知らせ（北海道農政事務所）
****

【１】「地域おこし協力隊　自治体職員向け研修」全会場終了しました！

前回の 31 号でもご紹介しましたが、今月 12 日(火)に開催した釧路会場での研修をもちまして、今年度の「地域おこし協力隊自治体職員向け研修」が無事終了いたしました。

職員の皆さん、参加いただき大変ありがとうございました！

◆プログラム（全会場共通）
・道の施策説明（官民連携推進局地域おこし協力隊サポート推進室）
・講演
「外部人材が地域に入って活動する上での心構えと地域にとって必要な支援とは」
（NPO 法人ふるさと回帰支援センター副事務局長　稲垣　文彦 氏）
・グループトーク「失敗を次にどう活かすか」
・グループワーク「協力隊シミュレーションゲーム」

◆開催結果
【札幌会場】
・日時：2023 年 11 月 13 日（月）13:30～17:30
・場所：北海道第二水産ビル４階　４Ｓ会議室
・参加者数：20 名（市町村職員 16 名・振興局４名）
【旭川会場】
・日時：2023 年 11 月 14 日（火）13:30～17:30
・場所：アートホテル旭川３階　ボールルームⅠ
・参加者数：15 名（市町村職員 14 名・振興局１名）
【函館会場】
・日時：2023 年 11 月 20 日（月）13:30～17:30
・場所：函館アリーナ１階　多目的会議室Ａ
・参加者数：13 名（市町村職員 11 名・振興局２名）
【釧路会場】
・日時：2023 年 12 月 11 日（月）13:00～17:00
・場所：釧路市交流プラザさいわい１階　多目的ホール
・参加者数：14 名（市町村職員 10 名・振興局４名）

【２】西塔さん連載企画！～第 21 回「地域おこし協力隊の募集数が過去最高に」文 西塔大海さん（さとのば大学講師）

今回のテーマは「地域おこし協力隊の募集数が過去最高に」です。

12 月 21 日、総務省による「地域おこし協力隊の担当職員向け研修」が開催されました。自治体職員向けの研修でしたので、テーマは募集・採用でした。「応募が増え、ミスマッチが減る募集の方法」と題して、私も 90 分の講義をさせていただきました。職員さんの関心は非常に高く、全国から 300 以上の自治体がオンラインで参加し、意見交換も行われました。実際、移住交流推進機構 JOIN の協力隊募集件数は、12 月に 600 件を超え過去最高になっています。一方で、応募状況はどうなのでしょうか？

参加した職員さんにアンケートを実施したところ、「今年度に募集したが、応募数が 3 件以下で採用に至らなかった」という回答が 40%に達していました。全体の 25%は応募が 0 件だったそうです。また、採用できた自治体でも応募件数は、ほとんどが 3 件以下だったことがわかりました。合わせると、全体の 85%が「募集しても応募が 3 件以下」と極端に少なく、募集に苦戦している状況がわかります。

一方で、北海道でも地域おこし協力隊ネットワークが発足しているように、全国で OBOG による協力隊制度の支援の動きが活発化しています。自治体の募集支援業務を実施する団体も出てきていますので、お困りの職員さんはぜひ道庁などにお問い合わせください。私も可能な限りお手伝いさせていただきます。

大切なポイントは、業務内容を具体的にし『できそう×面白そう』と応募者が思える企画を作ることです。詳しくは雑誌『TURNS』Volume62 の地域おこし協力隊制度のトリセツ（P156）をご覧ください。間に合う自治体さんは、必ず募集に要する経費も次年度予算に計上しましょう！

【３】「とかち地域おこし協力隊ネットワーク（TCN）」活動状況報告

とかち地域おこし協力隊ネットワーク（TCN）副代表の磯野さん（広尾町地域おこし協力隊）より、ネットワークの活動状況についてお知らせです！

とかち地域おこし協力隊ネットワーク（TCN）副代表です！
年越し以降，TCN 関連の催事が続きます！

【令和 5 年度十勝地域おこし協力隊研修交流会】
十勝管内で活躍する協力隊 OBOG の活動経験に触れ，現役協力隊のキャリア形成に資することを主目的とする研修交流会です。具体的には，協力隊 OBOG による話題提供，パネルディスカッション，グループワークを通じて，卒業後を見据えた協力隊活動のあり方を探っていきます。

共　催：十勝総合振興局・とかち地域おこし協力隊ネットワーク
日　時：2024 年 1 月 18 日（木）
時　間：13:00-16:40
場　所：十勝総合振興局庁舎 3 階講堂
対象者：十勝管内の地域おこし協力隊（現役）

【地域おこし協力隊キャラバン式ツアーin 上士幌：糠平湖氷上サイクリング―国立公園における自然体験活動の促進―】
糠平湖氷上サイクリングとワークショップを通じて，地域おこし協力隊同士の交流を深めると同時に，国立公園等で施工されている自然公園法に基づいたアクティビティについて学びます。こちらは十勝管外の現役協力隊も参加可能なので，ご興味をお持ちいただけたら是非ご参加ください！

共　催：とかち地域おこし協力隊ネットワーク・十勝総合振興局
日　時：2024 年 2 月 3 日（土）
時　間：9:00-15:00（ワークショップのみ参加の場合は 13:00-15:00）
場　所：糠平湖，ヒグマ珈琲
対象者：地域おこし協力隊（現役）

上記二件に加えて，クラウドファンディングを主題とするスキルアップ研修会（2 月）を主催したり，国際フェスタ in とかち 2024 に出展したりする予定です。

ほかにも，協力隊同士のコラボ企画などさまざまな企画を練っているので，詳細が決まり次第，SNS 等を中心に告知できればと考えています。

これら催事を通して協力隊や関係者の皆さんとお会いできるのを楽しみにしています！

【お問い合わせ先】
▼とかち地域おこし協力隊ネットワーク事務局副代表　磯野　巧
▼Email：tcn.manage@gmail.com

【４】創業セミナーのご案内（日本政策金融公庫）

日本政策金融公庫創業支援センターよりセミナー開催のお知らせです！

〇税理士による創業セミナーin 札幌市図書・情報館
　創業者を多くみてきた税理士が「創業のトリセツ」を語ります。
　税務はもちろん、管理会計、経営戦略など、創業期に大切なことを学べます。
　https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/wasyoku/231204.html

■開催日時：令和６年１月 12 日（金）18:00～20:00
■開催方法：対面とオンラインのハイブリット開催
■参加費：無料
■申込方法：下記申込フォームより申込
■申込〆切：令和６年１月５日（金）まで
申込フォーム：
（対面）
https://direct.jfc.go.jp/w112_SeminarApply?id=d19f36ec-21a4-47c6-94d9-77113a944e6e
https://short-link.me/xtTa
（オンライン）
https://direct.jfc.go.jp/w112_SeminarApply?id=57088c1a-e786-40dc-ab27-42b36e1a7dc3
https://short-link.me/xtT6

〇創業ナッジセミナー　～創業って何からはじめればいいの？～
　起業・創業に興味がある皆さまに、創業するための大切な準備や先輩起業家の体験談など、
　たくさんのヒントをお伝えします。

■開催日時：令和６年１月 17 日（水）18:15～20:45
■開催方法：対面開催
■開催場所：小樽経済センター４階ホール（小樽市稲穂２－２２－１）

■参加費：無料
■申込方法：下記 HP より申込
■申込〆切：令和６年１月 16 日（火）まで
HP：https //www.city.otaru.lg.jp/docs/2020100800049/

【お問い合わせ先】
▼担当者：日本政策金融公庫北海道創業支援センター　小塚 友平
▼電話：011-231-9260

【５】食関係キャンペーン実施のお知らせ（北海道農政事務所）
北海道農政事務所より、食関係のキャンペーン実施のお知らせです！

農林水産省では本年 12 月４日に和食がユネスコ無形文化遺産に登録されて 10 周年を迎えることから、新たな発想で「和食文化の魅力」を発信していく「行くぜっ！にっぽんの和食」キャンペーンを開始しました。
このキャンペーンは、農林水産省が参画する「行くぜっ！にっぽんの和食」キャンペーン実行委員会で和食文化の保護・継承に関わる企業・団体と協力して実施いたします。

【実施期間】令和 5 年 12 月 4 日（月曜日）から令和 6 年 12 月 3 日（火曜日）まで

【キャンペーンの内容】
（１）賛同者の募集及び和食の保護・継承活動の促進
本キャンペーンの趣旨に賛同し、参加する企業、団体または個人を募集し、賛同者には、和食文化の保護・継承活動の促進に取り組んでいただきます。
［賛同申請フォーム］
https://questant.jp/q/washoku10th_supporter

（２）ロゴマークの作成
キャンペーンの認知度を高め、賛同者の連帯感を高めるため、ロゴマークを作成しました。賛同申請承認後に、賛同者へロゴマークを直接配布し、賛同者のロゴマークを使用した活動を促進します。

（３）特設サイトの開設
［「行くぜっ！にっぽんの和食」キャンペーン特設サイト］
https://www.washoku10th.jp/
［「行くぜっ！にっぽんの和食」X 公式アカウント］
・アカウント名称：行くぜっ！にっぽんの和食
・アカウント ID：@washoku10th

＜お願い＞
北海道地域おこし協力隊メールマガジンでは、市町村、地域おこし協力隊など関係者の皆さんからの掲載記事を募集しています。
道内で活動中の皆さんの取組紹介でも構いません。他地域の皆さんの取組が情報共有、また様々な連携に繋がっていくものと考えていますので、メールマガジンの積極的な活用をお願いします。掲載を希望される方は、chiiki.okoshi@pref.hokkaido.lg.jp までご連絡ください。

◆発行　　北海道 総合政策部 官民連携推進局
　　地域おこし協力隊サポート推進室

◆住所　　　　〒060-8588　札幌市中央区北３条西６丁目
◆電話　　　　 011-204-5791（直通）
◆御意見・お問い合わせ（当メールマガジンに関すること）
　　　　　　　chiiki.okoshi@pref.hokkaido.lg.jp
◆登録変更、中止、バックナンバーはこちらから
　　　　　　　http://www1.hokkaido-jin.jp/mail/magazine/
◆北海道地域おこし協力隊ホームページ
　　　　　　　https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/ckk/68404.htm
◆このメールマガジンに掲載された記事の無断転載を禁じます。
◆このメールマガジンは等幅フォントで見ることをおすすめします。
┏┏┏┏┏┏┏┏┏┏┏┏┏┏┏┏┏┏┏┏┏┏┏┏┏┏┏┏┏┏┏┏┏┏┏